



解散選挙の立候補

廻るお鉢の順序

濱通の勝敗は双相の戦陣 野崎氏の態度が重視さる

解散選挙不可避と見る政界、中現代議士に再起を求め、同派が既に候補者の物色と氏また快諾すること既定の必勝策の暗中飛躍をなしつゝあるは、選挙の如く第三區濱通に於ける野崎の準備は愈々濃厚化して来た現状より見るに、

下馬評

は石城政友で解散選挙の例により、現代議士木村清治氏に一應の交渉を試み、同氏の勇退が、

活躍を

託さんとの事情の下に結局辞退するものと見るもの多し、次のお鉢は同派本縣支部幹事長鈴木辰三郎氏に於て落付て、

絶対優

勢であり資金の調達も大して困難であるまいと云はれてゐる之れに對する民政派の陣容は、常勝軍と稱される比佐島南黨は二十日政友會では片や大養片や若槻南總裁の

吾黨の氣勢伸揚に

東都の大會へ出席 石城地方からは政民各十數名今朝上京す

相容れ

ざるは周知の事實であつて前回と同じく氏家氏を援くるものとせば石城の地盤に相當の露食を可能とされ従つて政友派に不利の結果を見るに至り

農事講習會

石城郡神谷村の農事講習會は、二月三日（舊十二月十六日）農事講習會を開き、

平消防組の火防デ

に現縣警野崎藏氏の去就、署員と協力し全副に亘る火防デ、

指導を以て攻防の陣容を整ふる同會出席の爲め石城地方からも兩派各十數名上京したが、

平小唄(二)

賞入 平町 大内文平 本紙一月十九日懸賞懸賞 二七二句(六)に掲載「花の新川日ぐれの土手」

臭い礫の蓄肥會社

町衛生上の將來の爲め 有志者間に創設の計劃

石城産馬の豫算増額

石城郡産馬畜産組合に於ける新豫算附議の總會は、

内務大臣は精神病者

平驛員の手 石城郡上野村の上野野牛

良句雅記

俳句 満壽壯 寒き夜や水につるべのあ

流行

百日 咳の流行 石城郡警備隊村では、

慰問金品

満州派遣軍と 東北飢饉地へ 石城郡警備隊村では、

精神病者

平驛員の手 石城郡上野村の上野野牛

